

第2部 先進的な取組事例紹介

② 視覚情報の音声化技術について

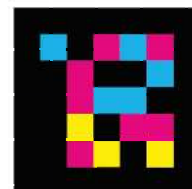
講師 **水谷真** 氏 社会福祉法人 AJU自立の家

- ナビレンズ
- Eye Navi
- コード化点字ブロック

視覚情報の音声化技術

1 ナビレンズ 視覚障害者の移動支援システム

- タグと呼ばれるカラフルな二次元コードをアプリ内のカメラでスキャンすると、その場所の説明や、距離・方向などの案内を画面に表示。
- 情報を音声で読み上げ、視覚障害者や高齢者など、看板や文字が見えづらい時、目的地までの道が複雑な時などに案内を行なう。
- 海外では徐々に普及が進んでおり、バスや電車などの公共交通機関の乗り場案内や時刻案内、美術館や博物館などに活用されている。





アプリの読み取り感度が高く
遠くからでも情報をキャッチ



外出時に
一番不安な
トイレも案内

視覚情報の音声化技術

2 Eye Navi

視覚障害者歩行支援アプリ

- Eye Naviは、スマートフォンひとつで、道案内と障害物検出、歩行レコーダー機能を備えた歩行支援アプリ。
- 目的地までの方向や経路、周辺施設、進路上の障害物、歩行者信号の色、点字ブロック等を音声で知らせる。

特徴1 AIによる障害物・目標物検出

歩行者や車止めなど歩行の障害となる物の有無や歩行者信号の色などを音声でお知らせします。



特徴2 視覚障がい者に寄り添う経路案内

目的地までの経路の概要、交差点の有無、施設の情報などを事前に確認できます。自宅や目的地の登録が可能です。



特徴3 歩行レコーダー機能

自動車のドライブレコーダーのように、歩行時の映像を自動で保存する機能を搭載しています。



視覚情報の音声化技術

3 コード化点字ブロック

視覚障害者歩行支援アプリ

- 「コード化点字ブロック」は、通常の点字ブロックの25個ある点に色をつけたもので、これをスマートフォンのアプリで読み込むことで、音声情報を提供
- 点字ブロックを専用アプリで読み取ると読み取った方向に応じて音声案内を聞くことができます。
- 視覚障害者に周囲の情報を提供するほか、観光客や外国人に向けて観光情報を提供することができます。

